

修学上の支援・調整を

必要とされる方へのご案内



26.03.19.5000

在学生・保証人（ご父母等）の方へ

障がいのある学生の支援に関するパンフレット

教育開発推進機構 学修支援センター

もっと日本を。もっと世界へ。



KOKUGAKUEN Univ.

國學院大學









1 授業時の支援 | 合理的配慮のご案内

國學院大學では、合理的配慮を通じて、障がいのある学生の授業参加をサポートしています。学修支援センター アクセシビリティ支援室が合理的配慮に関わる窓口をしています。

大学教育における合理的配慮とは、公平な学修機会を保証するため、授業参加の障壁となっているものを取り除いたり、調整することを表します（単位を保証するものではありません）。國學院大學では、合理的配慮により、多様な背景を持つ学生の授業参加を保証できるように努めています。

合理的配慮を希望する場合は、学修支援センター アクセシビリティ支援室へご相談ください。学生一人一人の状況を確認し、学部・学科・担当教員と連携し、適切な支援内容を検討します。

■ 配慮内容の例（他にも様々な配慮・支援を提供しています。詳しくはQRコードより）

 内部障がいのある学生 疲れやすい体質のため、移動で休みを取らないといけず、どうしても授業に間に合わないことがある …	 事情理解 ▶ 欠席や遅刻、課題の未提出等が、障がいの影響を受けていることを先生方にお伝えし、理解を求めます
 発達障がい（注意欠如/多動傾向）のある学生 注意が続かなくて、大事なお知らせを聞き逃してしまう。聴覚情報だけだと不安 …	 情報保障 ▶ 聞き漏らしを防ぐため、重要な情報（課題の内容や提出期限等）をK-SMAPY IIに掲示するようお願いします
 不安障がいのある学生 人前で話すことに極度の不安がある。少ない人数であれば、会話や発表はできるが、どうしたらいいか …	 発表・グループワークの配慮・支援 ▶ 授業の本質を変更しない範囲で、個別の事情や不安に応じた参加の仕方を先生と相談します
 肢体不自由のある学生 文字をうまく書くことに非常に時間がかかる。筆記試験の場合だと、最後まで書ききれない …	 試験配慮 ▶ 書字の困難への配慮・支援のため、代替的な回答方法（パソコンの使用など）を検討します

⚠ 配慮のお願いが難しいもの

配慮は、学生の学修参加を保証するためのものです。その目的にそぐわない希望や、授業担当教員の過重な負担になる希望は、お願いすることが難しくなっています。

【例】欠席や遅刻の取り消し / 遡っての配慮のお願い / 授業形式の大幅な変更 など



その他の例

■ 配慮の実績がある障がいの一覧

- ① 視覚障がい（盲・弱視）
- ② 聴覚障がい（ろう・難聴・聴覚過敏）
- ③ 肢体不自由（筋ジストロフィー・手足麻痺など）
- ④ 内部障がい・慢性疾患・難病・その他の機能障がい（心臓疾患・大腸疾患など）
- ⑤ 発達障がい（注意欠如/多動症、自閉スペクトラム症、限局性学習症）
- ⑥ 精神障がい（統合失調症・双極性障がい・抑うつ性障がい・不安障がい・睡眠障がいなど）

1 申請から配慮提供までの流れ

面談予約



合理的配慮の申請を行いたい旨を、学修支援センター アクセシビリティ支援室（電話・メール・窓口）に、お伝えください。支援コーディネーターとの申請面談の予約を行います

※ 申請には、根拠資料（障害者手帳や3ヶ月以内発行の診断書等）の提出が必須です

申請面談



どのような配慮を希望するかを申請書に記載いただき、それを元に、支援コーディネーターが聞き取りを行います。その内容を支援コーディネーターが配慮願文書にまとめます

※ 申請面談は、期ごと（前期・後期・サマーセッション …）で必要です

内容審議



学部・学科・研究科および関連教職員が集まる委員会にて、申請を希望する内容に一定の妥当性があるかを審議します

※ 申請時期によって、申請から配慮提供まで最大1ヶ月程度かかる場合があります

文書送付



再度、学修支援センター アクセシビリティ支援室に来ていただき、承認された文書を、ご自身で、K-SMAPY II を通じて授業担当教員に送付します

※ 送付を行うまで、合理的配慮の提供は開始されません

⚠️ 申請の対象外になっているもの

合理的配慮は、あくまで「障がいのある学生の学修支援」を目的としています。そのため、一時的な病気や負傷により、授業参加が難しい等の場合は、申請の対象外となります（通院・入院等を含む）。

2 授業時の配慮・支援以外の相談や窓口の紹介

1 学修支援センター | 履修や学修全般に関する相談・定期面談

学修支援センターでは、障がいのある学生に対して、合理的配慮の調整だけでなく、学修に関するお困りごとに合わせて、職員・支援コーディネーター・アカデミックアドバイザー（大学院生・特別研究生）が相談を受けつけています。



時間割うまく組めてるかな …
自分のペースで単位が取りたいけど

履修相談 ご状況に合わせた履修計画を一緒に考えます！



卒論のテーマが考えられない
自分の考えと言われても難しい …

学修相談 考えを引き出しながら、一緒にヒントを探していきます！

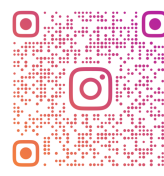


生活のリズムを作るのが苦手 …
定期的にモニタリングしてほしい

定期面談 一緒にリズムを作ります！



学修のヒントを発信中！



- ・レポートの書き方
- ・プレゼンの仕方
- ・役に立つアプリ
- ・習慣化の方法 …

KOKUGAKUIN.UNIV.LEARNING

■ 学生相談室 | 障がいに伴う学生生活全般の相談



障がい学生の大学生生活全般を支える相談窓口です。ご自身の障がいに関することはもちろん、学生生活上のさまざまな悩みに対応します。相談には臨床心理士や精神科校医など専門スタッフが対応しています。受付は来室・電話・メールで可能です。

渋谷キャンパス

📍 若木タワー 3階 📞 03-5466-0149
📅 月・水・木・金 9時 ~ 18時
火・土 9時 ~ 17時

たまプラーザキャンパス

📍 1号館 1階 📞 045-904-7665
📅 月~金 9時 ~ 16時30分

■ キャリアサポート課 | 障がいのある学生の就職支援・情報提供



障がいのある学生支援が専門のキャリアアドバイザーや担当職員との【個別面談】や、障がいのある学生にあった就職活動方法について【ガイダンス】を実施しています。キャリアサポート課資料室に【障がいのある学生支援コーナー】も設置しております。

渋谷キャンパス

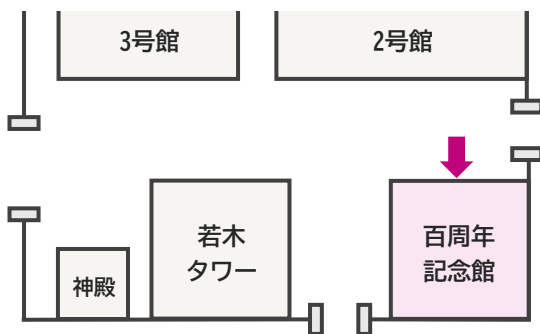
📍 百周年記念館 1階 📞 03-5466-0151
📅 月 ~ 金 10時 ~ 18時
土 9時 ~ 17時
(12時50分 ~ 13時50分は閉室)

たまプラーザキャンパス

📍 1号館 1階 📞 045-904-7707
📅 月 ~ 土 9時 ~ 16時40分
(12時45分 ~ 13時45分は閉室)

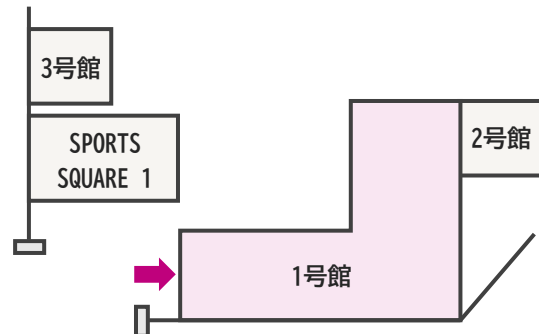
3 学修支援センター アクセシビリティ支援室の場所

渋谷キャンパス



📍 渋谷キャンパス 百周年記念館 1階
📞 03-5466-6743
✉ gs-support@kokugakuin.ac.jp (全キャンパス共通)
📅 月~金 10時 ~ 18時 (12時50分 ~ 13時50分は閉室)
土日祝日等を除く。期間により開室時間に変更があります
※ 大学院ご所属の方は、大学院事務課：若木タワー5階 (03-5466-0142) までご相談ください

たまプラーザキャンパス



📍 たまプラーザキャンパス 1号館 1階
📞 045-904-7721
✉ gs-support@kokugakuin.ac.jp (全キャンパス共通)
📅 月~金 9時 ~ 16時40分
(12時45分 ~ 13時45分は閉室)
土日祝日等を除く。